

平成29年度

大好評!「わが家のすこやか日記」

泣いたり、笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、子どもから大人まで様々な世代の方から昨年お寄せいただいた作品のうち、優秀作品11作品を紹介いたします。(学年は受賞時)

だっこもおんぶもしてほしいで賞

だっこもおんぶもしてね

高梁市立宇治幼稚園 / 田村 凜 さん

こけたり、にいちゃんとかんかしたりしてかなしいとき、かあちゃんがだっこしてくれるよ。かあちゃんのだっこは、あったかくてきもちいいよ。

とうちゃんは、おんぶをしてくれるよ。とうちゃんのせなかは、ちよつとかたいよ。おふろのあとのおんぶは、あったかいんだよ。

かあちゃんも、とうちゃんも、「りんは、おもいなあ。おおきくなつたんじゃない?」っていうんだよ。おおきくなつても、だっこもおんぶもしてほしいんだけどな。

やさしいおねえさんで賞

おとうとのおふろ

倉敷市立玉島小学校1年 / 進藤 祐羽 さん

わたしには、一さいしたのおとうとがいます。このあいだ、おとうとがおとうさんやおかあさんといっしょにおふろにはいらなかったの、すぐおこられて「もうはいらないでいい!」となくので、わたしがいっしょにおふろにはいってあげました。

こどもだけでおふろにはいったことがなかったけれど、おふろにつかって、それからあたまとからだをあらってあげました。まだないたので、こえをかけてあげました。おふろからでてからだをふいてあげました。おとうともだんだんなきやんできました。どあのそとをみると、おとうさんとおかあさんがにこにこしてこつちをみていました。

じぶんを大切にしたいで賞

えらばれたぼく

倉敷市立万寿小学校2年 / 井口 凜太郎 さん

ぼくは、まい日おかあさんといろいろな話をします。学校のこと、しごとのこと、ごはんのこと…ぼくがーばんすきなのはたまごの話です。おかあさんのおなかの中のたくさんたまごから、たつた一つえらばれたのがぼくだという話です。おこるとこわいおかあさんも、この話をする時はとつてもやさしいです。ぼくが生まれてうれしかったんだな、とつたわってきます。ぼくはえらばれたんだからじぶんを大切にしたいです。

ばくだんおにぎりが大すきで賞

お母さんのばくだんおにぎり

美咲町立美咲中央小学校3年 / 甲本 蓮司 さん

ぼくのお母さんは、けんどうのしあいや遠足の時はかならず、ばくだんおにぎりをつくってくれます。すごくおいしいし、元気がでます。友だちには、大きすぎてびっくりされることもあるけど、きもちのこもった大きなばくだんおにぎりが大すきです。

何回でも自己紹介をするで賞

ひいばあちゃん大好き

高梁市立高梁小学校4年 / 瀧岡 桜 さん

「どちらさんかな?」

あんなにかわいがってくれていたひいばあちゃんが、ちほう症になり、私のことも忘れてしまいました。

「桜です、はじめまして。」

と自己紹介をしたら、とたんに笑顔になり話しをしてくれます。

「ひいばあちゃん、何回でも自己紹介をするから、いつまでも元気で私とお話してね!」

まほうのガムはホッとするで賞

おばあちゃんのガム

高梁市立有漢西小学校5年 / 佐分利 歩未 さん

おばあちゃんの家のガムはまほうのガムだ。食べたならなぜかホッとする。小さい時は、からいと思っていたけれど食べなくなる。おばあちゃんのまほうが入っているとずっと思っている。この前も、妹とおばあちゃんと一緒にガムを食べた。みんなににこにこ笑っていた。私も心が温かくなってとつても、とつても、うれしかった。今度は私がおばあちゃんにまほうをかけてあげたい。

がんばる父は格好いいで賞

父はスーパーヒーロー

倉敷市立水島小学校6年 / 西山 純平 さん

去年の夏、ぼくは初めて父の職場見学をしました。火の粉が飛び散る暑い作業場で、溶かした鉄を操る父はとても格好良く、他の見学者が拍手をくれるほどでした。「今日のヒーローは純平のお父さんだね。」と案内の方が言ってくれました。ぼくは自分がほめられるより何倍もうれしかったです。

この日、父の身体のたくさんあざが、火傷のあとだと気がきました。ぼくは父の大きな背中をやさしく丁寧に洗いました。ありがとうの感謝の気持ちをこめて。

母の優しさに涙で賞

親子ゲンカ

笠岡市立神島外中学校2年 / 大本 麻由 さん

ある日、とつても小さなことで母さんとケンカしてしまいました。「しらない。もう夕ご飯食べない!バカ。」と母さんに言ってしまいました。夕ご飯を食べずにいると、母さんは無言で、おにぎりを私の近くにおいてくれました。何も言いたくない私の気持ちを分かってくれていました。「お風呂入りなよ。」その優しさに、泣かずにはいられませんでした。ありがとうね、母さん。

母の言葉でがんばれたで賞

お母さんの一言

岡山龍谷高等学校1年 / 小林 美鈴 さん

「大丈夫よ。頑張れ。」これは中学校のときにお母さんが毎日言ってくれた言葉です。私は中学校のころ、学校に行きたくない時期がありました。そんなときにお母さんはその言葉を毎日言ってくれ、お弁当のふくろをかけた時にいつもメッセージを入れてくれました。お弁当を作る時間だけで忙しそうなのに、メッセージまで。そのメッセージに勇気をいつももらっていました。メッセージ一言、それだけで一日頑張れました。メッセージがあったからちゃんと学校に行けました。

お母さん、ありがとう。

どんなメッセージを書くのか楽しみで賞

とーちゃんとのメッセージ交換 岡山市立岡山中央幼稚園 保護者 / 橋爪 絵里子 さん

夫は、飲食店勤務です。帰宅はいつも夜中です。夫と子供と一緒に過ごせる時間が少ない分、何かコミュニケーションをとれる方法はないか考えました。そこで偶然見つけたのが、シート黒板。その日あった出来事や、とーちゃんに伝えたいことなど書いて寝る。朝起きたら、とーちゃんからの返事が書かれているという風になりました。

「はがぬけたよ」→「は、だいじにね」 「つぎはなんようびがやすみ?」→「げつようびだよ」

「あまってるしょくばんたべないでね」→「たべないよ」

子供が今夜はどんなメッセージを書くのか、楽しみです。

お弁当作りをがんばるで賞

お弁当でコミュニケーション♪

美咲町 / 桑元 純子 さん

娘と、めつきり話をする時間が少なくなり、少しさみしい母…。せめて、お弁当を開けた時に「うわー!」と毎日思ってもらえるとうれしいなーの一心で、お弁当作りを励む今日この頃。一時「あまり食べれない…」と二段の弁当箱を一段にして過ごしていたが、つい先日「二段にして!」との事。食欲の秋とともに、気持ちも落ち着いたのかなと感じた出来事でした。